

若手句会実況中継 平成30年9月14日(金)

指導者：今井聖氏・角谷昌子氏

出席者数

22名

高点句

1位 虫の声編み込む夜のレース編み

白井飛露

8点

(受講生6点、今井・角谷選)

講評：高得点ではあるが、虫の声で夜と分かるので、言葉の重複を避けたい。また編み込む対象をしつかりと出す方がよい。

「虫の声編み込んでいるレースかな」としたい。(今井・角谷)

2位 マンハッタンまで百マイル星月夜

近藤真啓

6点

(受講生4点、今井・角谷選)

講評：若さの感じられる句。(角谷)「マンハッタン」では50点。も

う一息斬新な場所を考えて欲しい。(今井)

3位 秋の夜を付き合い浅き人と寝る

芳村瑞恵

5点

(受講生3点、今井・角谷選)

講評：「夜」と「寝る」が重複する。「夜」が必要か。「性」を描いている挑戦句。(今井) 衝撃的で意外性ある。(角谷)

3位 秋声や盲導犬の尾を立てる 寺澤始 5点

(受講生4点、角谷選)

講評…盲導犬の句はよくあるが、感じが良く出ている。(角谷)

犬は何か気付いたときに尾を立てるもの。「盲導犬」「水琴窟」「廃校」など既に情緒がある言葉で取り扱いに注意が必要。もっと句に屈折が欲しい。(今井)

3位 ボルシチの肉噛み締むる野分かな 池田瑠那 5点

(受講生3点、角谷・今井選)

講評…「噛み締むる」に肉を味わっている感じが出ている。(角谷)

「ボルシチ」と「野分」の取り合わせが絶妙。「噛み締むる」に肉の固さがあり、心の屈折を感じる。(今井)

3位 鳥渡る指紋の渦の端流れ 吉田林檎 5点

(受講生3点、角谷・今井選)

講評…指の指紋に注目する身体性、そこから「鳥渡る」と天空へ視線を向けスケールの大きな句になった。指紋の「端流れ」と執着をもって観察したのが手柄。(角谷・今井)